

# 平成29年度 事業報告書

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

学校法人 善き牧者聖母学院

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人 善き牧者聖母学院（昭和61年3月31日法人設立）

代表者 理事長 武田 優子

住 所 大阪府豊中市春日町3丁目8番15号

電 話 06-6857-8151

FAX 06-6854-6990

設置する学校

住 所 大阪府豊中市春日町3丁目8番15号

名 称 春日荘聖マリア幼稚園

役 員

理 事 6名 監 事 2名

評議員 13名

理事会 3回開催 評議員会 3回開催

教職員 14名

## 2. 事業の概要

（ 春日荘聖マリア幼稚園 ）

《教育方針》

キリスト教的愛の精神に基づき、心のきずなと優しい思いやりをはぐくみ、大切な体と自立の精神を養い、豊かな知性を育成する。

《教育内容》

モンテッソーリの教育理論を取り入れた保育内容、3・4・5歳児による縦割り学級を編成し、各クラスは二名の教員が担当する。子どもの自由な活動を大切にしつつ、集団での保育も行い、自立と自主の心を育てる。

	3歳児		4歳児		5歳児		ク ラ ス	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	0	50	0	55	0	60	6	165
28年度	0	41	0	49	0	50	4	140
29年度	0	45	0	45	0	47	4	137
30年度	0	40	0	42	0	48	4	130

《保育時間》

月・火・木・金 午前9時～午後2時 水 午前9時～午前11時30分

《納付金》

保育料 年額300,000円（12分割均等納付）

給食費 週2回 1食380円（1ヶ月申込数分）

通園バス費 月額3,500円

冷暖房費 3,500円（7月）

教材費 3, 600円 (年間)

《入園時の費用》

入園料 70, 000円

検定料 2, 500円

《預り保育の時間及び費用》

月～金曜日 午前8時から午後7時まで (保育時間を除く)

月～金 午前8時～午前9時 200円 午前8時30分～午前9時 100円

月・火・木・金 午後2時～午後7時 水 午前11時30分～午後7時  
30分 100円 1時間 200円

《行事予定》

マリア祭、親子ふれあいデー、星まつり、スポーツデイ、遠足、七五三のお祝い、バザー、クリスマスの祈りの集い、「成長のあしあと」発表会、お別れ遠足、

《施設関係》

園地面積 2, 655㎡ 運動場面積 1, 156㎡

バス入口門扉改修工事完了、ゆり組横園児トイレ改修工事完了。

《設備関係》

簡単テントの取得、エアコンの更新。LED電気取替。

《事業報告》

平成29年度の事業は、前年度より園児が3名減少したものの、保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

平成27年度4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、新制度移行が進み、大阪府発表によると平成30年度は249園が私学助成で事業を継続する予定で、当園は、私学助成を継続しているが、平成31年度施設型給付の幼稚園に移行を予定している。

さて、政府は、待機児対策を期待して、平成27年度に認定こども園をスタートさせていたが、平成28年度から企業主導型保育事業をスタート、今年度より、私立幼稚園での一時預り事業の充実を進めることが発表となり、待機児対策を強力に押し進めている。この矢継ぎ早の流れに、内容の理解が進まず、ポジティブな対応を多くの園がとることができていない状況にある。更に、政府は、保育士不足から、保育士資格者の配置基準の緩和を進め、子育て相談員（市町村長等が行う研修を修了した者）を職員資格に加え、専任教諭の専念義務の緩和と受け取れる状況を認めようとしている。一方、大阪府は、この状況を把握しているにも関わらず、森友問題を契機に監査グループを設置し、補助金調査の厳格化を進めようとしている。

以上のことを踏まえ、当園としては、新事業への理解を深め、事業継続を語るため、5年後の事業を想定し、中期事業計画を作成する。また、補助金調査へしっかりと対応出来るよう、事務組織を見直し、事務管理体制の確立に努めることとする。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が97,633千円、教育活動支出計96,733千円、教育活動収支差額900千円のプラスと安定した経営状況になった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、64.39%となり、前年度より低下した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

新年度、園児数は前年度より14名減少するので、慎重に対応した経営を心掛ける。

また、当年度の卒園児は47名であるので、同数以上の園児確保を目指す。

### 3. 財務状況

別紙参照。